

ふくしまの魅力人

みりょくびと

Interview

祖父が確立した作風「空間有美」を受け継ぐ若き盆栽作家

吾妻山の麓に80年以上続く盆栽園の三代目、阿部大樹さん。時々、山に分け入っては老木、古木の枝や幹、根を観察しながら仕事のヒントにするという阿部さんに、「空間有美」を本質とする盆栽の魅力とこれからのについて伺いました。



ぼんさいや「あべ」三代目 阿部大樹さん

Daiki Abe PROFILE
祖父・故・倉吉氏は、皇居の盆栽も手掛けた業界の第一人者。父・健一氏と共に祖父が確立した作風「空間有美」を追求。盆栽の素材となる苗の販売と盆栽の手入れを生業にしながら国内外での講演や盆栽展、苔玉づくり体験などを通して盆栽の魅力を伝える活動にも取り組んでいる。今秋は、スイスやフランスを巡りその魅力を伝える。
Facebook ● ぼんさいや「あべ」 <https://www.facebook.com/kukanyubi>

■ 吾妻山をモデルに海外にも盆栽の魅力を発信

祖父・倉吉さんが確立した盆栽の作風「空間有美」を本質とする阿部家の盆栽の魅力は、祖父の著書が数カ国語に翻訳されていることもあり海外にも伝わっています。ご両親がベルギーで行っている実演は、今年で10年目になるそうです。「盆栽作りの原動力は感動です。自然の造形美に感動したら誰かに伝えたいかならその方法として盆栽があるんだと思います。これからは吾妻山をモデルに、見ていると胸がスツとするような良い作品を作り続けていきたい

い」と話す大樹さん。盆栽展示会や気軽に参加できる苔玉づくり体験などで、ぜひその魅力に触れてみてください。



▶阿部さんのお宅には、直接指導を受けたという外国からやってくる方も



三代目 阿部大樹さん
これからの空間有美を追求し続けます

盆栽は生命の芸術。盆栽に国境なし

二代目 父・健一さん

■ 感動を与え続ける盆栽

三代目として盆栽業を継ぐことに迷いはなかったという大樹さん。五年間の修業から戻り、最初に手掛けたのが盆栽の認知度を上げることでした。「苗づくりや盆栽の手入れをしながら、若い人たちの手仕事やフリーマーケットなどに顔を出すことから始めました」。すると少しずつ講演や苔玉づくり体験などの講師依頼が舞い込むようになりました。順調に盆栽業が軌道に乗り始めたころ起きた東日本大震災。「続けるべきか悩みました。そんな時に福島市内に避難された方が盆栽を見て、

『心が安らぎました』と言い、帰られました。この言葉で続けることを決心しました。2011年夏、震災後初めて行った盆栽展には多くの人が訪れてくれました。



▲「五葉松盆栽の作り方」(阿部倉吉著 山海堂刊) イタリア語、フランス語、スペイン語、英語に翻訳され盆栽の魅力を海外に発信。近日ドイツ語版が出版予定

■平成27年度 盆久楽展 **無料**
大樹さんが今も手入れを続ける祖父の倉吉さんの作品を見ることが出来る貴重な展示会です。
とき/10月10日(土)、11日(日)、12日(祝)
ところ/吾妻学習センター分館
◎盆久楽会 会長 阿部健一
☎024-591-11638

■苔玉づくり体験
大樹さんが、美しい苔玉の作り方を一から丁寧に教えてくれます。ぜひご家族で参加してみてください。
と き/7月20日(祝)、8月23日(日)
ところ/アオウゼ
参加費/三千元
申し込み/開催日の7日前までに電話で
※申し込みから未済の場合は開催できません。ご了承ください。
◎福島市観光コンベンション協会
☎024-531-16432



二人気の苔玉



日本三大「五葉松」のひとつに数えられる「吾妻五葉松」